

秋期企画展

河川工事と機関車 — 山から川へ土を運ぶ —

淀川資料館

2020年10月7日(水)～12月6日(日)

現在の枚方市岡南町付近を走るSL



淀川資料館



開館時間：午前10時～午後4時

休館日：第3土日、祝日

(10月17日、18日、11月3日、21～23日)

入館料：無料

〒573-1191

大阪府枚方市新町2丁目2-13

TEL：072-846-7131

京阪電車「枚方市駅」から徒歩7分

※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



淀川資料館
ホームページ

ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum>

かつて、枚方や高槻、寝屋川をSLが走っていた！

大正から昭和30年代にかけて、淀川の堤防を築く工事で、土取場から淀川まで線路が敷かれ、SLが引くトロッコ列車が土を運んでいました。

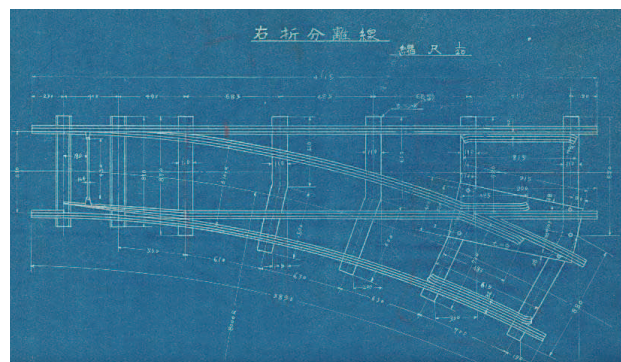
今回の企画展では、当時の写真や図面を紹介し、治水工事の歴史をふりかえります。



現在の枚方市跼踞地区を走るSL



枚方市駅付近の線路図(想定)



分岐器(ポイント)の設計図面

同時開催

門真市立歴史資料館・市立枚方宿鍵屋資料館・淀川資料館・鴻池新田会所
合同展示

一人とモノを運ぶ

河内には淀川という日本でも有数の大河川があり、京街道や古堤街道、東高野街道などが通り、大坂と京都、大坂と奈良、大坂と高野山を結んでいました。

4館が連携した今回の合同企画展では、以下の3館においても、河川や街道を利用して運ばれた人やモノに注目した展示を行います。

門真市立歴史資料館

【テーマ】

資料が語る
むらとまちの交流史

今回の展示では、物流に大きな役割を果たした街道や宿場、河川の様子を概観し、それらを支えた村々とのかわりについて明らかにします。



門真市柳町11-1
06(6908)8840
開館時間 9:30～17:00
休館日 月・祝日・特別整理期間
入館料 無料

市立枚方宿鍵屋資料館

【テーマ】

人とモノを運ぶ
枚方の近世・近代

鍵屋資料館では、これまで収集・調査してきた枚方市が所蔵する資料のうち、人とモノに関わる近世・近代資料を展示します。



枚方市堤町10-27
072(843)5128
開館時間 9:30～17:00
休館日 火
入館料 大人200円 中学生以下無料

鴻池新田会所

【テーマ】

古堤街道の移り変わり

古堤街道整備の意義や変遷を寝屋川の動向とともにパネルで解説します。



東大阪市鴻池元町2-30
06(6745)6409
開館時間 10:00～16:00
休館日 月・祝日の翌日
入館料 大人300円 小中学生200円